

令和5年度第5回



大分大学医学部附属病院

市民公開講座

<テーマ>

アトピーのせいで諦めない！やりたいことができる人生へ。

アトピー治療新時代の到来

開催日時 : 令和6年1月21日(日) 14時開催

開催場所 : J:COM ホルトホール大分 303会議室

総合司会 : 波多野 豊 (大分大学医学部皮膚科学講座 教授)

講演 : アトピーのせいで諦めない！やりたいことができる人生へ。
アトピー治療新時代の到来

広瀬 晴奈 (大分大学医学部皮膚科学講座 助教)

総合討論 : 事前にいただいた質問への回答

アトピー性皮膚炎

- Q1. アトピー性皮膚炎ってどんな病気？
- Q2. どうしてアトピー性皮膚炎になるの？
- Q3. アトピー性皮膚炎の原因は？
- Q4. アトピー性皮膚炎は治るの？
- Q5. いつまで治療したらいいの？
- Q6. ステロイドを塗っても効果がない？
- Q7. きれいになったらすぐにステロイドをやめてもいいの？
- Q8. ステロイドをぬると黒くなる？

Q アトピー性皮膚炎ってどんな病気？

A 治療をしない状態で、かゆみのある湿疹が、慢性的によくなったり悪くなったりする病気です。

慢性的：赤ちゃんなら2ヶ月以上、1歳以上なら6ヶ月以上続く状態

Q どうしてアトピー性皮膚炎になるの？

A アトピー性皮膚炎を起こしやすい肌は

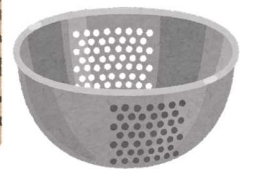
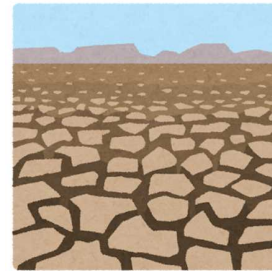
生まれつき、皮膚のバリア機能が低下しています。

背の高さ、顔の形がみんな生まれつき異なるのと同じように、生まれつき、外からの刺激から皮膚を守る、バリアの機能が弱いことが影響しています。

正常皮膚



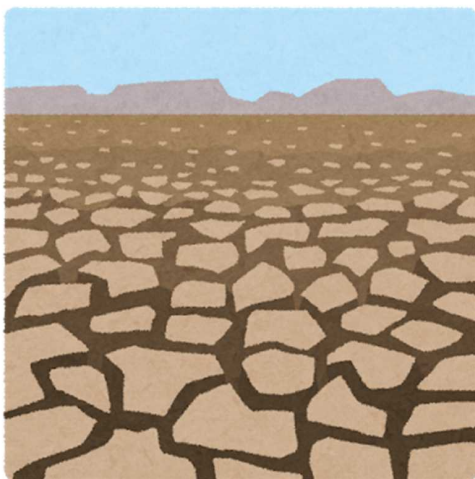
アトピー性皮膚炎を起こしやすい皮膚



皮膚のバリア機能：フィラグリン遺伝子異常
天然保湿成分：セラミド減少

アトピー性皮膚炎を起こしやすい皮膚

皮膚のバリア機能：フィラグリン遺伝子に異常がある人がいます
天然保湿成分：セラミドが減少しています



外的刺激（ダニ、ハウスダスト、食物などのアレルゲン）が侵入しやすい



細菌/ウイルス感染を起こしやすい



炎症が起きやすい、長引きやすい



かゆみに敏感

Q アトピー性皮膚炎の原因は？

A 生まれつきの皮膚の形（バリアする機能の低下） + 増悪因子

▶生まれつきの皮膚の形とは・・・

正常な皮膚は外から入ってくる刺激をブロックできるのですが、生まれつきバリア機能が弱い肌質の場合、外から入ってくる刺激（アレルゲン）をブロックできずに皮膚の中に侵入されてしまいます。

アトピー性皮膚炎を悪化させる要因（増悪因子→次の項目で詳しく説明します）は人それぞれですが、いくつかの要因が重なり合って起こるケースが多いです。



正常皮膚



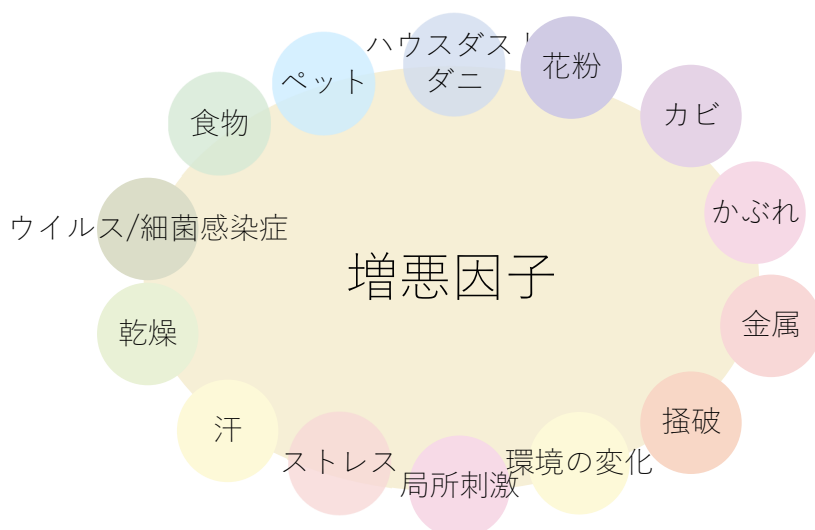
アトピー性皮膚炎の皮膚

Q アトピー性皮膚炎の原因は？

A 生まれつきの皮膚の形（バリアする機能の低下） + 増悪因子

▶増悪因子とは・・・

アトピー性皮膚炎になってしまった皮膚を、さらに悪化させる要因のことです。



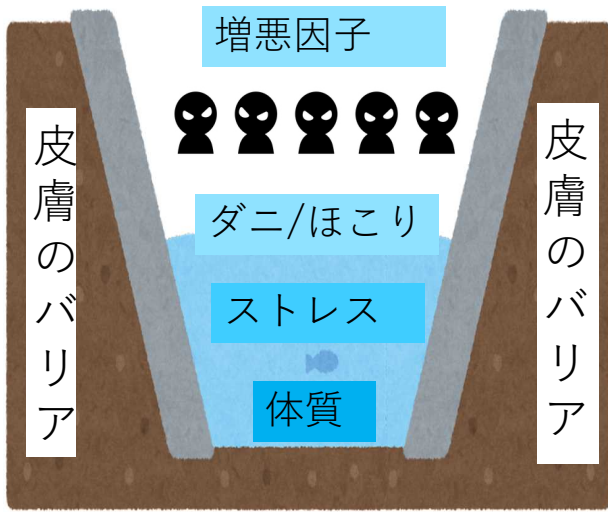
いろいろ

お肌に悪いものはあるけれど・・・

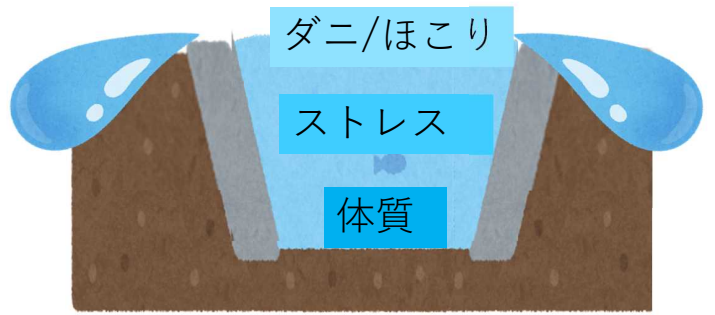
一番の増悪因子は

治療を中断すること

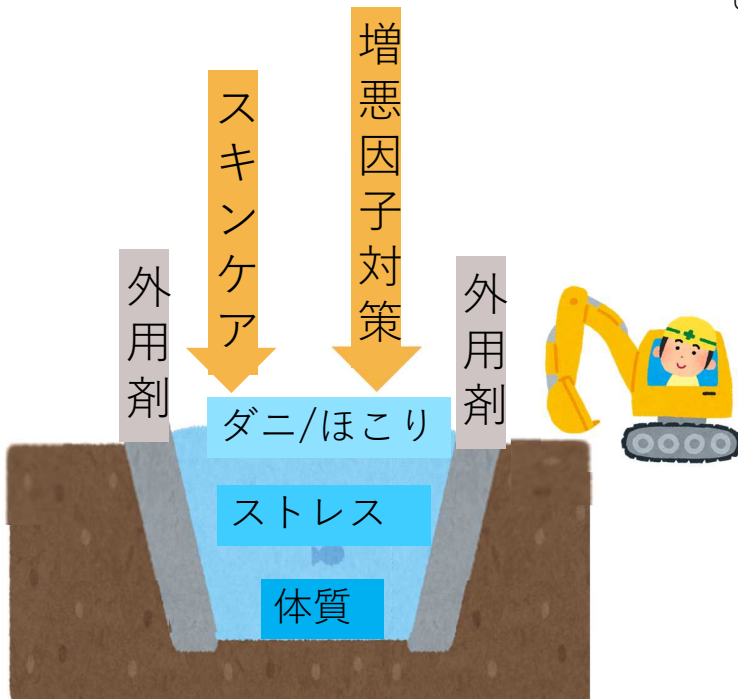
症状が現れないとき
多少の増悪因子ではあふれない



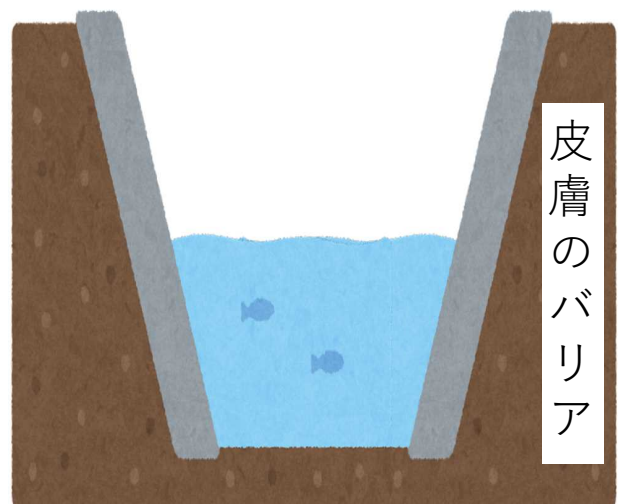
症状が現れるとき
少しの増悪因子ではあふれてしまう



あふれないように
外用剤で堤防を作りましょう
水の量（増悪因子）も下げてあげましょう



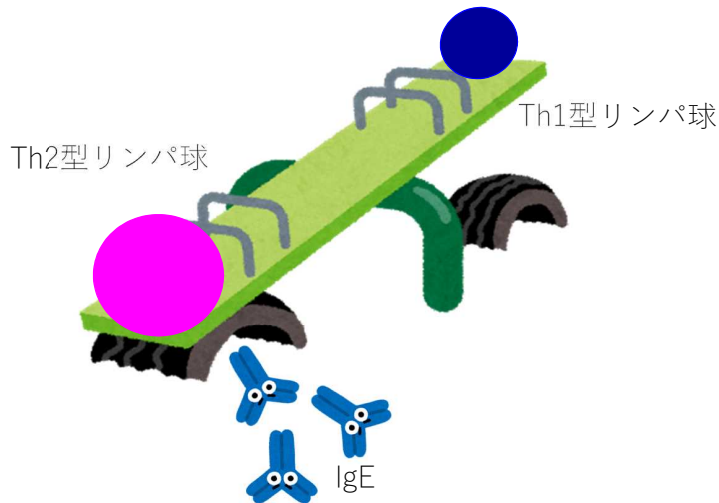
臨時の防波堤をしっかりと防波堤にして
多少の増悪因子ではあふれないようにしましょう



Q アトピー性皮膚炎の原因は？

A 生まれつき、アレルギー体質をもっている

▶アレルギー体質とは・・・
血液の中のリンパ球のバランスが崩れやすい



IgEが高い・・・その根本にあるのはリンパ球のバランス

Q アトピー性皮膚炎は治るの？

ゴールを定めて正しい治療を行い、
最小限の労力で湿疹のない状態を維持できるようにします

起こった皮膚炎を鎮める

▶薬物療法

生まれつきの皮膚のハンディキャップをカバー

▶スキンケア

増悪因子を減らす

▶増悪因子対策

Q いつまで治療したらいいの？

ステロイドは、始めたら辞められないのではと心配

終わりのないマラソンは走りたくないですね・・・

最初はステロイドの薬を毎日塗りますが、
だんだん減らして、週2回でキープします。
減らすスピードは個人差がありますので、医師が判断します。

×かゆいときだけぬって、かゆくなくなったらやめる

▶リアクティブ療法・・・推奨されていません

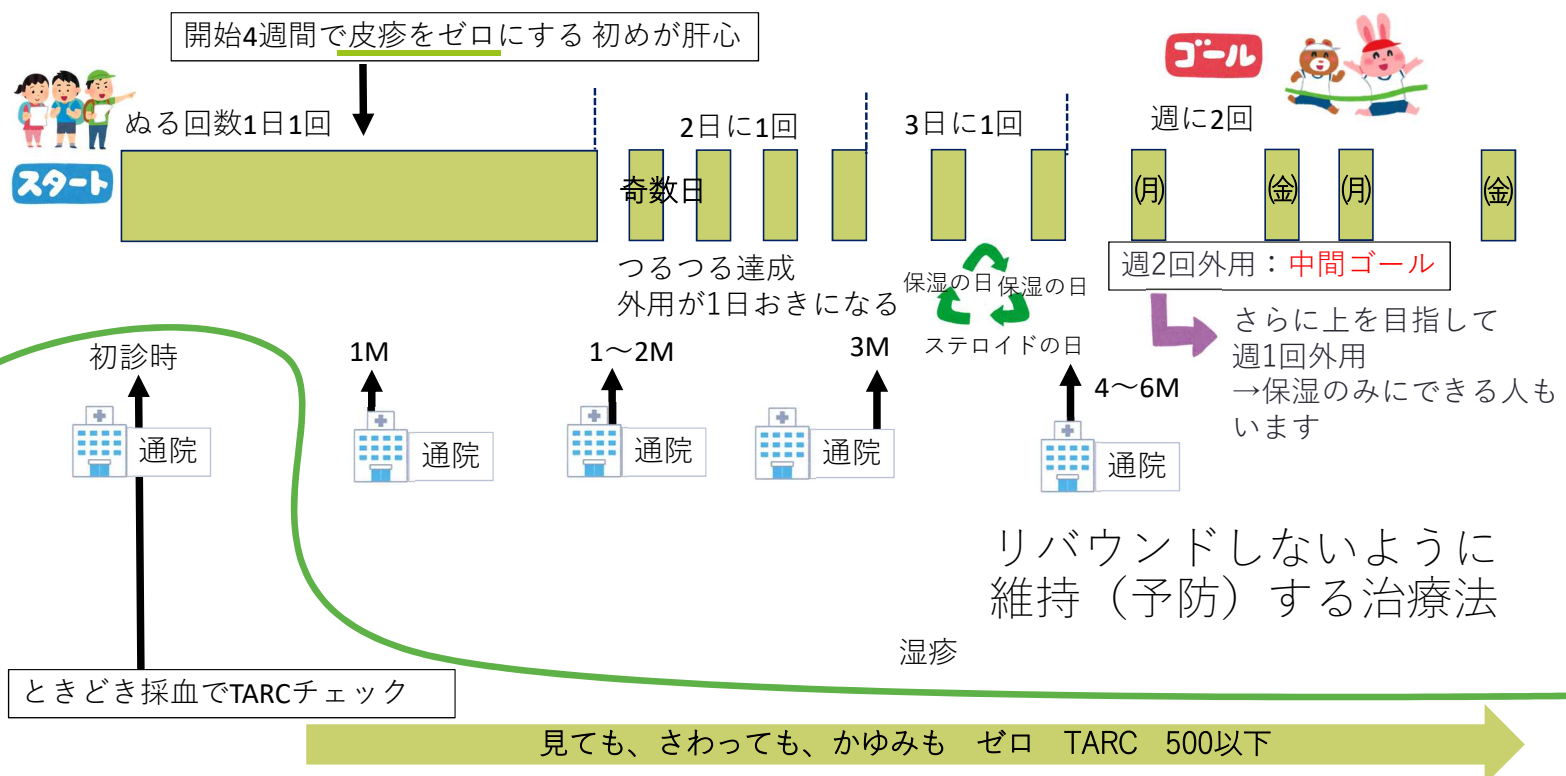
○かゆみがおさまっても、塗り薬を塗る回数を減らしてながら続ける

▶プロアクティブ療法・・・推奨されています

採血検査でTARC値を確認しながら、減らします。

ゴールは週2回ぬるだけで、かゆくなく、つるつるの状態が維持できることです

プロアクティブ療法 治療にはゴールがあります



Q ステロイドを塗っても効果がない？

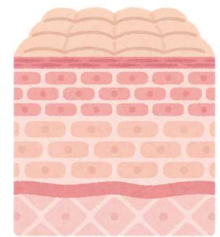
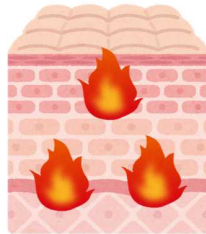
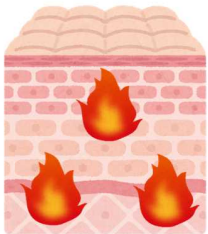
火事にじょうろで水をかけても消えません

炎症の強さに合わせた塗り薬を選びます。

火事の大きさに合わせた
消火方法でないと、
火は消えません

炎症の強さに合わせた薬を選びます

この状態になるまでは毎日しっかりぬります
ゼロをキープしながらゆっくり薬を減らします



Q きれいになったらすぐにステロイドをやめてもいいの？

消えたように見えても、まだ火がくすぶっています。しっかり消火しないと、また燃え広がってしまいます。

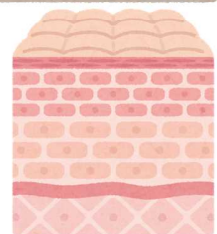
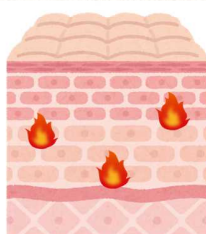
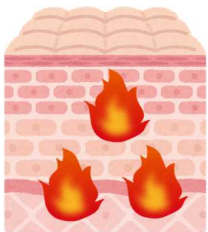
炎症が完全に消えるまで、間隔を開けながらも塗り続けます。

消えたように見えても、

皮膚の下には炎症がまだ残っています。
油断せずに、指示通りに外用を続けます

完全に炎症が治ったら
週2回外用で維持します

最初は一生懸命消火します

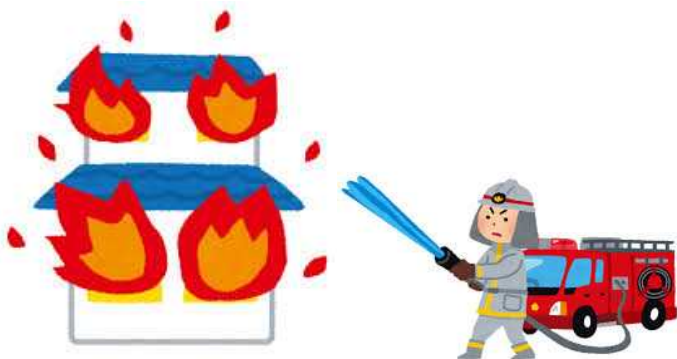


Q ステロイドをぬると黒くなる？

火事で燃えたあとが黒くなっていることを、水をかけたから黒くなった、とは思わないですね。

ステロイドを塗ったから黒くなるのではありません。

炎症のあとが黒く見えているだけで、湿疹がない状態をキープすれば徐々に薄くなります



むしろステロイドのぬりぐすりを早めに使用して炎症を早く抑えることが、色を残さないためにも大切です。



A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

